



「七の心をつなぐ」
第4回 七里ガ浜発 七ヶ浜復興支援隊
ボランティアバス 運行報告書

「七の心をつなぐ」をキーワードに第4回七里ガ浜発七ヶ浜復興支援隊ボランティアバスが運行された。
本報告書ではその活動の記録を報告いたします。

赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」助成事業

七里ガ浜発 七ヶ浜復興支援隊 / NPO ウォーターリスクマネジメント協会

活動日 2011/09/17-18

報告日 2011/09/22

報告者 中里成光 写真：大藪

記録：中里え

第4回 七里ガ浜発七ヶ浜復興支援隊ボランティアバス 報告書

今回の活動内容

- ・ガレキ撤去
- ・松林伐採
- ・仮設住宅事務所にて打ち合わせ

募集期間

8/29～9/9

スタッフ 8名

参加者 36名

現地合流 3名

合計 47名

説明会

9/10(日) 17:00 ～

於七里ガ浜自治会館



当日

9/17 20:00 スタッフ集合 出発前ミーティング 於：自治会館
備品準備、ボランティア保険など

21:30 集合場所に移動

21:40 点呼開始 氏名チェック、ボランティア保険証の配布、荷物の積み込み
トイレ 自治会館
乗り込み

22:04 七里ガ浜出発 朝比奈より高速へ
説明、注意、横列の自己紹介のあと全員自己紹介

23:30 消灯
2時間毎にパーキングでトイレ休憩

9/18

6:00 石巻

- ・被災状況をバスで視察
- ・ボランティア経験のある梶山さんのお話
家の前が海、自衛隊が随所で作業していた
悲惨な光景を目の当たりにし、生きていいのかという状況
県道の段差が激しい→重機の行き来で道が沈下、補修したため
がれきの山から煙がたちのぼる
壊れた車は山積み
河川の修復はいまだに土嚢を積んだのみ
など



2



<松林伐採部隊>20名 総リーダー田村
 松林の松を切り、運び出し作業・・・リーダー佐俣
 木を切り出し、運び出す作業

- ・松の若芽だけは残して作業
- ・下草刈りの際、スプレー缶があり作業のボランティアが浴びてしまった。
 →今後、作業着やマスク、ゴーグルの着用など検討

チェーンソー部隊



14:30 活動終了

15:00 ボランティアセンター 着替え

15:30 出発

16:10 お土産「鐘崎かまぼこ」



ボランティアセンターで活動報告を作成する
 田村・森田 両副代表

16:40 出発



一人ひとり感想・反省点

- ・松林は若芽を残して下草を刈り、木を切る作業。人力である程度の広さまで作業できた。
- ・ひとりではできない達成感
- ・コンテナがなくうれしかった。
- ・来るたびにきれいになる姿がうれしかった。
- ・小さな松の木が育っていくよう頑張った。4～5年先が楽しみ。
- ・初めて、被害を目の当たりにして大変と改めて実感した
- ・5m×30mほど松林清掃できた
- ・一人ではできないことも人海戦力でできてよかった。
- ・震災直後の場所がだいぶきれいになっていて、復興すごいなおもった。
- ・家一個の作業がこんなに大変と思わなかったけど、やりきって達成感があった
- ・素敵な仲間に出会えて感謝
- ・石巻の様子をみて、進んでいないと感じた。七が浜はボランティアがやっている。国だけで、復興は難しいので我々一人一人が活動を続けていきたい
- ・家主さんの登場、手伝いがうれしかった
- ・作業時、草むらからコスモスを残すことが希望につながると感じた
- ・有意義な活動だった
- ・自分なりにできることをやった、役にたててよかった
- ・いろんな世代の人と汗を流せた
- ・息子と2人、雑草をむしっているという家主の方にあえてよかった
- ・自然にはかなわないと思ったけど、人の力も捨てたもんじゃないと思った。
- ・子供たちに伝えていきたい
- ・この経験を伝承してほしい
- ・仮設住宅の人が、タダに慣れてきてしまって、地元の人がお金を取りづらい状況が出ている。

<協力・支援団体>

赤い羽共同募金

NPOウォーターリスクマネジメント協会

七里ガ浜町内会・七里ガ浜2丁目自治会・七里ガ浜自治会・七里ガ浜商店会

楓幼稚園・七里が浜小学校・七里ガ浜高校

田辺睦會・ボーイスカウト鎌倉7団・七里ガ浜クリーンコミュニティー・仙台サーフショップユニオン他

☆見違えるほどきれいになった菖蒲田浜！！ 海に入れる日も近いかも☆

